

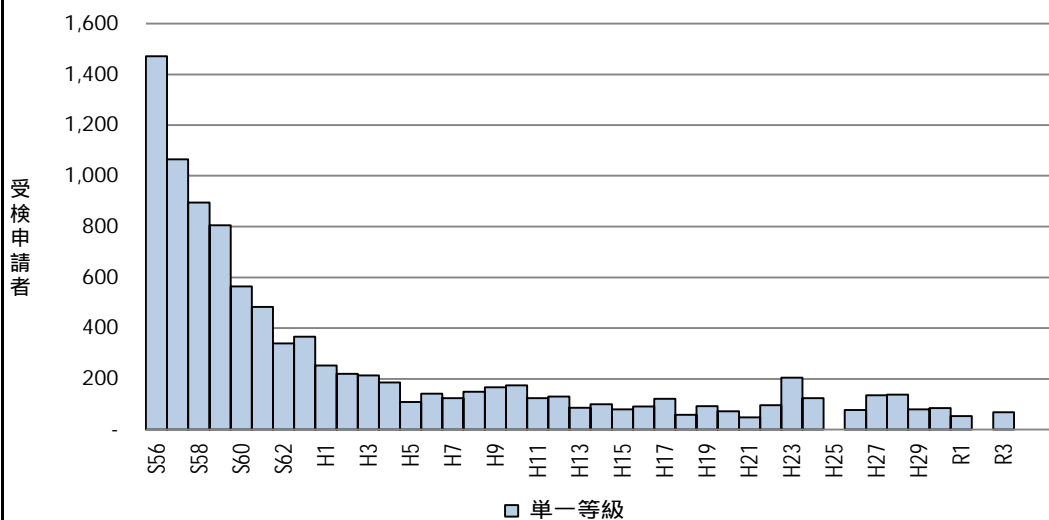
枠組壁建築職種の概要

・枠組壁工事業
 数種類の規格木材を用いて組まれた枠組みに、構造用合板などを止め、金物及び専用クギを用いて打ち付けた床、壁によって建築物を建築する作業

昭和56年度に職種が新設された。受検申請者数は初年度の1,472人をピークに漸減しており、平成23年度に200名を超えたものの、その後は100名を下回る状況が増えていった。令和3年度から隔年で試験を実施している。

試験実施状況

枠組壁建築職種 受検申請者数の推移



「枠組壁建築」職種の受検申請者数の推移（過去6年分）

職種統廃合等の検討対象となる判断基準（1次判断基準）

過去6年間の年間平均受検者数が100人以下のもの。ただし、以下の場合は検討対象から除外。
 直近2年間の受検者数がいずれも100人超の場合。
 隔年又は3年毎の実施で、平均受検申請者数が50人又は30人に達する場合。

職種	受検申請者数						平均受検申請者数 (過去6年間)
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
枠組壁建築彫刻	80	85	53	-	68	-	48
枠組壁工事業	80	85	53	-	68	-	